

## 3 山手地域

### (1) 現況と課題

---

#### ■ 現 況

- ・山手地域は、阪急神戸線以北の山の手にあり、六甲山系の山裾に良好な住宅地が形成されています。中でも六麓荘は、芦屋のイメージを代表する風格のある住宅地の一つです。
- ・朝日ヶ丘遺跡や八十塚古墳群などの遺跡、芦屋神社や岩園天神社などの社寺、近代建築を象徴するヨドコウ迎賓館のほか、路地や水路など往時の面影を残す街並みも見られます。
- ・住宅地を中心に大学や病院などの公共公益施設が多く立地する中で、芦屋川や宮川、農地などの貴重な自然を市街地内に有しています。
- ・道路網は、都市計画道路である芦屋川左岸線や宮川線、朝日ヶ丘線、芦屋山麓線、山手線が幹線道路となっていますが、未整備区間が残るほか、山裾に位置することから傾斜地が多く、また、狭あいな道路も見られます。
- ・阪急芦屋川駅に隣接する芦屋川右岸線は、駅への送迎車と通過車両等との輻輳が見られます。また、駅やバス停の徒歩圏から離れた公共交通の空白地域が見られます。

#### ■ 課 題

- ・低層や中低層の住宅を基本とする良好な住環境を保全していくとともに、阪急芦屋川駅周辺や幹線道路沿道では生活機能の維持・誘導を図る必要があります。
- ・緑豊かで風格ある住宅地景観が形成されており、引き続き、住環境や景観の保全に取り組んでいく必要があります。
- ・急峻な傾斜地では関係機関と連携して土砂災害に対する安全性を高める必要があります。
- ・傾斜地の特性を踏まえながらも、安全・安心な道路空間の確保とともに、公共交通網の維持・充実や、これにも資する道路の整備に取り組む必要があります。
- ・特に山手線については、狭あいな道路が残る市街地の改善や阪急芦屋川駅の交通結節機能の向上と合わせた整備を検討する必要があります。

## (2) まちづくりの方針

### 1) 安全・快適な住環境と地域核の形成

・六甲山系に近接する豊かな自然環境の下で、良好な住環境や風格ある住宅地を保全・形成しながら、生活機能の維持・誘導や安全性の向上を図ります。

### 2) 歴史や文化に触れる環境の保全・創出

・地域固有の歴史・文化的資源を保全するとともに、地域資源を活用したまちづくりにより、にぎわいや地域活力の創出を図ります。

### 3) 防災性の向上や交流・連携を促進する交通ネットワークの形成

・山手地域の地形的条件に配慮しつつ、交通の円滑化、防災性を高める交通ネットワークを形成し、移動の安全性・快適性の向上を図ります。

### 1) 安全・快適な住環境と地域核の形成

#### ①美しい住宅地景観の保全・形成

- ・六麓荘に象徴される芦屋らしいゆとりと風格のある住宅地は、「地区計画」や「風致地区」「緑の保全地区」等を運用し、市民との協働により、緑豊かで美しい住宅地景観の保全・形成を図ります。
- ・また、斜面地に形成された街並みの特性を活かし、擁壁面の緑化などによる重層的な緑の景観形成を図ります。

#### ●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

土地利用\_住居系

都市景観\_(2)市街地景観の保全・形成

#### ②暮らしやすさを支える拠点づくり

- ・阪急芦屋川駅周辺では、交通結節機能の向上を図るとともに、市民生活の拠点としての機能の維持や誘導を図ります。
- ・山手線、宮川線などの沿道については、周辺の住宅地と調和を図りつつ、日常生活を支える店舗などの立地を許容し、交通利便性を活かした沿道利用を図ります。

#### ●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

土地利用\_住居系

土地利用\_商業系

交通・都市施設等\_(2)交通結節点の整備方針

### ③安全安心な住宅地の形成

- ・関係機関と連携して適切な開発指導や土砂災害などの安全対策を進め、防災性の向上を図るとともに、特に土砂災害特別警戒区域等では、開発行為の抑制を図ります。
- ・土砂災害に備えるため、市民への防災情報の発信や意識啓発、防災士や自主防災組織への支援等を行い、地域の特性に応じた地域防災力の向上を図ります。
- ・幅員が狭い道路については、沿道建築物の建替えなどに合わせて道路の拡幅整備を図ります。

#### ●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

---

土地利用\_住居系

都市防災\_(1)防災系緑地の形成

都市防災\_(4)災害に強いまちづくりの推進

## 2) 歴史や文化に触れる環境の保全・創出

### ①地域固有の歴史・文化的資源の継承

- ・国指定の重要文化財で、芦屋川の文化的景観とともに日本遺産の構成文化財に認定されているヨドコウ迎賓館をはじめとする貴重な歴史・文化的資源を、多様な主体との連携の下で適切に維持管理しながら、保全・継承を図ります。

#### ●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

---

都市景観\_(2)市街地景観の保全・形成

### ②歴史・文化的資源を活かしたまちづくり

- ・ハイキングや歴史探訪、散策の場としても利用されている地域固有の歴史・文化的資源の更なる活用を図ります。
- ・特に、ヨドコウ迎賓館から芦屋川沿いにかけての一带では、歴史・文化的資源を活用し、中央地域とも連携した活性化を進め、交流などによるにぎわいの創出を図ります。

#### ●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

---

都市景観\_(2)市街地景観の保全・形成

### 3) 防災性の向上や交流・連携を促進する交通ネットワークの形成

#### ①交通の円滑化や防災性を高める交通ネットワークの形成

- ・交通の安全性や円滑性，防災性の向上等を図るため，山手線の整備及び沿道市街地の面的整備，阪急芦屋川駅の交通結節機能の向上等に向けた調査・研究や，芦屋川沿岸における一方通行化の検討を進めます。
- ・駅やバス停の徒歩圏から離れた公共交通の空白地域では，既存の公共交通等を補完する施策について，地元機運の高まりに応じ，地域住民とともに検討します。

●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

交通・都市施設等\_(1)公共交通の整備方針

交通・都市施設等\_(2)交通結節点の整備方針

交通・都市施設等\_(3)道路の整備方針

#### ②人にやさしい快適な道路空間づくり

- ・地域の特性を踏まえながらも安全・快適に散策や健康づくりを楽しむことができるよう，利用しやすく人にやさしい歩行者空間や，街路樹の適切な維持管理・更新による潤いのある快適な道路空間の整備に努めます。

●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

交通・都市施設等\_(3)道路の整備方針

都市景観\_(2)市街地景観の保全・形成

#### ③地域内を回遊できるネットワークづくり

- ・学校や病院等の公共公益施設や，公園・緑地，歴史・文化的資源などを，街路樹や河川沿岸などの潤いある道路空間でネットワークすることで，地域内の回遊性の向上を目指します。

●関連する全体構想の【まちづくりの整備方針】

自然・都市環境\_(1)自然環境の保全・形成

都市景観\_(2)市街地景観の保全・形成

